

医動物・食品中異物検査結果（令和3年度）

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。令和3年度の食品中異物検査実績は1件でした。内訳は昆虫類1件(チョウ目)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

| 相談内容・発生状況等 | 写真 (状態、体色、大きさ) | 同定結果 | 生態・その他 |
|---------------------------------|---|------------|-------------------------------------|
| コーヒーを保管している缶に幼虫が付着していた。 (1月) |  | チョウ目(ガ)の幼虫 | ガ類の幼虫は農作物、果実、樹木などの害虫で、極めて多食性のものが多い。 |

幼虫、灰白色、約6mm

いつ開封したかしら？ ミックス粉は、保管に**注意**しよう！

知っていますか？ パンケーキ症候群

使いかけの**お好み焼き粉**や**たこ焼き粉**、**パンケーキミックス**などを常温で保管すると、ヒョウヒダニ類等が侵入、繁殖し、その粉で調理した料理を食べてダニによるアレルギー反応を起こすことがあります。ヒョウヒダニ類は小麦粉だけでは増殖しにくいですが、お好み焼き粉等に含まれるタンパク質や脂質等がダニの増殖を活性化すると考えられています。

開封したお好み焼き粉やたこ焼き粉、パンケーキミックスは使い切るか、または密封して冷蔵庫で保管しましょう。

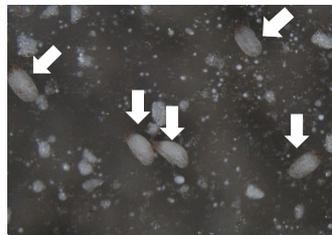


写真1 お好み焼き粉中のダニ



写真2 コナヒョウヒダニ

過去の事例：検査情報月報2021年5月号 医動物・食品中異物検査結果（令和2年度）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/eiken/geppo/2021/2105.files/210501.pdf>

【 微生物検査研究課 医動物担当 】